

■相阿弥 そうあみ 古河公方始・1455＝	絵師、鑑定家、連歌師。すべてのものに通じた芸術家、文化人という意味で巨匠の名に相応しい存在であった。 この頃、<u>能阿弥の子芸阿弥の子</u>に生まれたとされる。 中尾、名は真相、号は松雪斎・鑑岳。 ・・・・・・1458＝ 3歳：「御物御絵目録」を作成したことで知られる祖父能阿弥の主要な仕事は絵画の鑑定で、絵師、表具師、連歌師としても多方面にわたり活躍、この年、舶載された「二十四孝図」の評議に召され、
・・・・・・1463＝ 8歳：宗湛が新しく描く絵について進言していることなどから、豊富な知識が認められていたことが知られる。 ・・・・・・1464＝ 9歳：	
応仁の乱始・1467＝12歳：	能阿弥「白衣観音図」。この年勃発した応仁の乱以降、東山御物の名品が市場に流出し、堺の豪商や町衆たちの手に渡るといった流行が起き、能・芸・相阿弥もこうした時流に直接関わっていったと想定される。 幼時より画を得意にし、山水人物花鳥の水墨画やそれに淡彩を施したものを制作、周文をもとに、牧溪・玉潤を受け継ぎ、茶法にも通じて、祖父・父に引き続いて、足利將軍家に同朋衆として仕え、宴会あるごとに、詩歌を賦し、図画を創る。おそらくは数十人いた同朋衆の多くが阿弥号で呼ばれていたことから、時宗の阿弥号そのものでは無いにしても、時宗関係者が現業的な文化方面に勢力をもっていたのは事実であり、五山僧らにリードされながらも実務に携わって人々であつたと言えよう。
蓮如吉崎御坊1471＝16歳： 義政隠居後見1473＝18歳：	祖父能阿弥が死去。能阿弥の子とされる芸阿弥が唐物奉行を継いだことは確実。 狩野正信に対して画題・画本の選択や画事の相談を行なったりもしている。さらに正信の子元信は、墨の調子を相阿弥に学ぶべきだと忠告されたとの話もある。
・・・・・・1480＝25歳： 義政政権放棄1482＝27歳：	父芸阿弥の最も有名な作品「観瀑図」、 室町中期の<u>京都相国寺鹿苑院内に設置された蔭涼軒の歴代の軒主が記した公用日記「蔭涼軒日録」</u>のうち、<u>亀泉集証による筆録(1484～1493年)</u>には、相阿弥が唐物の値付けをしている記述が頻出、絵の鑑定についても、<u>「相阿にしか分らない」</u>とあるほど、鑑定家として認められている。
山城国一揆・1485＝30歳：	*父芸阿弥が死去。唐物を管理する唐物奉行、他の公用画家に対する顧問的役割を継いだとみられる。
足利義政没・1490＝35歳：	この年、<u>阿弥衆を多用して東山文化を創出した8代將軍足利義政が死去するが、義政最期の作になる、前年にいわゆる銀閣寺が完成した慈照寺庭園を、善阿弥とともに作庭したのをはじめ、長楽寺、願泉寺庭園も相阿弥の作とされるなど、作庭の才も高かった。</u>
大内義興入京1491＝36歳：	
・・・・・・1500＝45歳：	画家としては、三条西実隆が1474年から1536年にわたって記した「実隆公記」や室町時代後期の景徐周麟による「翰林葫蘆集」で、その活躍が記され、<u>“国工相阿”</u>と称されている。また「翰林葫蘆集」には、相阿弥の描いた書斎図に題して、<u>’（原叔首座が）国工相阿に絵を請い、且つ又予に就て賛詞を求む’</u>とある。一般に五山文学において、絵師に画を求める時の常套的な表現は<u>’工に命じて’描かせる</u>というもので、絵師の名さえ記されないのが通例である。それに比べ、ここでの<u>’我が国の名画工相阿弥に頼んで描いて貰った’</u>という表現は、非常に丁寧であり、相阿弥の画技は一般の職業画工より高いランクを与えられていたことがわかり、
・・・・・・1509＝54歳：	*この年創建された大徳寺大仙院の方丈に、狩野元信の「花鳥図」、狩野之信「四季耕作図」と並んで描かれた襖絵「山水図」、仏間の小襖に描かれた「瀟湘八景図」が最も有名。硬い規矩のある中国画風を、日本特有の穏やかで潤いのある画風に合させたことが最大の功績であった。このような柔軟さは、禅僧のように身分的に威儀を張る必要がなかったことによるだろう。心の底から水墨画を愛したことが窺えるのである。
遣明使・・・・・1511＝56歳：	<u>長年鑑定してきたものが証明されてきたことから、祖父能阿弥の「御物御絵目録」に倣うも、単なる目録ではなく、幕府所蔵の唐絵を中心に、150人ほどの中国画家たちを、上中下に大別、重要な画家には、上々、上々々と細分して特色を記すという、芸術作品の鑑賞という歴史を開いた画期的な「君台観左右帳記」を、</u>
義興周防帰国1518＝63歳：	
寧波の乱・・・・・1523＝68歳：	<u>座敷飾りの方式をまとめた「御飾記」を著すなど、阿弥派の絵画の大成、書院飾りの完成、書画の管理・鑑定、造園、香、連歌、茶道など多方面で活躍し続けて、</u>
・・・・・・1525＝70歳：	<u>没した。享年は70前後とされるので1455年頃の生まれとした。</u>